

「感震ブレーカー」普及への取り組み ②

地震による電気火災から重要文化財を守る！

『野木町煉瓦窯』に感震機能付ブレーカーを寄贈

日東工業株式会社（本社：愛知県長久手市、取締役社長 佐々木 拓郎）は、平成 29 年 12 月に生産拠点を構える栃木県野木町の国指定重要文化財「旧下野煉化製造会社煉瓦窯（以下、野木町煉瓦窯）（※1）」に、感震機能付ブレーカーを寄贈しました。

東日本大震災における火災原因の 66%（※2）は電気関係の出火とされています。今後予想される大地震による電気火災、特に電気復旧時に発生する復電（通電）火災を防ぐ有効手段である感震機能付ブレーカー（※3）を「野木町煉瓦窯」の照明やコンセント用の分電盤内に設置しました。

当社では、昨年 1 月に奈良県五條市五條新町「伝統的建造物群保存地区」に感震ブレーカーを設置し、日本の文化財や伝統のある建物などを保全・継承する活動を積極的に進めており、地域社会の安全な暮らしをサポートする取り組みを今後も広げていきたいと考えています。

- ※1. 「野木町煉瓦窯」は、明治 23 年（1890 年）から昭和 46 年（1971 年）まで赤煉瓦を生産し、日本の近代化に貢献。昭和 54 年（1979 年）に国の重要文化財に、平成 19 年（2007 年）には、「近代化産業遺産群」の一つに指定されている貴重な施設です。
- ※2. 大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会「大規模地震時の電気火災の発生抑制対策の検討と推進について」（平成 27 年 3 月）より
- ※3. 感震機能付ブレーカーは、震度 5 強相当以上の地震発生時に自動的に電気の供給を遮断します。また、地震波感知後、設定時間内に停電が発生した場合、復電時に自動的に電気の供給を遮断します。



旧下野煉化製造会社煉瓦窯（通称、野木町煉瓦窯）



感震機能付ブレーカー